

特集

わがまち八王子  
探訪シリーズ

「中心市街地」

は  
ち  
と  
ひ



2022年 新風号

No.50

Take Free

(ご自由にお持ちください)



多くの車が行き交う追分町交差点

中心市街地を深〜く知る！ その1

“八王子駅周辺散策コース”

八王子駅〜八日町

中心市街地を深〜く知る！ その2

“甲州街道探訪コース”

八日町〜西八王子駅

元気印の市民団体紹介

コラム 八王子の民俗誌⑩

八王子自然探訪②

私の本はこうして生まれた 其の五十

NPO法人八王子市民活動協議会

直入院の石造五智如来立像 佐藤 広

甲州街道沿いを歩く 粕谷 和夫

『見る！ 聞く！ 歩く！ 高尾・浅川野鳥図鑑』 八王子・日野カワセミ会 編

深〜く

中心市街地を知る!

その7

## 八王子駅周辺散策コース

今回巡るのはかつての八王子町にあたる八王子市の中心市街地です。八王子駅から京王八王子駅、西放射線ユーロードなどをぐるっと巡るルートと、八日町から甲州街道沿いに西八王子駅を目指す2つのルートを設定しました。街中にある歴史的見どころをご紹介します。

はちとぴ  
観光☆

—特撰—



### ◎「旧八王子町」の縁起

現在の八王子市は、いくつもの町村が合併して形成されています。その中心地でもある旧八王子町は、江戸時代の甲州街道沿いに栄えた八王子横山十五宿と千人町、元横山村、新横山村、子安村、本郷村が合併したことで、1889（明治22）年に誕生しました。そして1917（大正6）年に多摩地域で初めて市制を施行します。

1889年の甲武鉄道の開通によって八王子駅が開設され、1908年には横浜線も開通。都心との商業的な結びつきや開港地横浜への織物の輸送などが強化され、交通の面でも中心地になっていきます。

一方、八王子市街地ではたびたび災禍に見舞われ、1897年の八王子大火では町の75%が焼失し、死者42名の被害がありました。1923年の関東大震災では火災こそ起こりませんでした。40戸以上の家屋が全壊しています。1945（昭和20）年の八王子空襲では1600トンもの焼夷弾が投下されて市街地の80%が焼き払われ、犠牲者約450名、焼失家屋1万4千戸以上という大きな被害を受けました。

甚大な被害をたびたび受けながらも、三度立ち上がったこの地域は多摩地域の中核的商業都市として発展します。一時期は八王子駅ビルにあったそごうをはじめ、丸井、西武、伊勢丹、大丸など数々のデパートが建ち並んでいました。しかし、現在ではデパートはみな撤退し、入れ替わるようにマンションが林立。別の形でまた多くの人びとを呼び込んでいます。

### ①八王子駅



甲武鉄道（現・中央線）の立川〜八王子駅間の開業に伴って1889（明治22）年に開設。1983（昭和58）年に八王子駅ビルが誕生。中央線、横浜線、八高線の結節点であり、多摩地域の拠点駅でもある。（はちとぴ34号参照）

### ③八王子市学園都市センター



1997（平成9）年、八王子スクエアビル11〜13階に開設。発表会やコンサート用のイベントホールをはじめ、作品展に適したギャラリー、ホール、会議やサークル活動のためのセミナー室など、さまざまに利用できるコミュニケーション施設。

### ②マルベリーブリッジ



かつて八王子駅前には織物タワーがあったが、現在はその場所に八王子駅2階から延びる歩行者専用通路が架けられている。通称を「マルベリーブリッジ（桑の橋）」と呼び、絹織物をイメージしたモニュメントが建つ。（次ページコラム参照）

### ④クリエイイトホール



1999（平成11）年開館。生涯学習にまつわるさまざまな情報提供を行う。交流・発表の場としてホール、レクリエーション室、図書館、展示室、視聴覚室、料理講習室、スタジオ、録音編集室、学習室などを備える。



## ⑤子安神社



759（天平宝字3）年、淳仁天皇の皇后の安産のために創建されたと伝えられる。主神は木花開耶姫命（このはなのさくやひめのみこと）。毎年4月29日に卯の花祭が開かれる。昔、この神社周辺は「船森」と呼ばれた森と湧水地で名高かった。

## ⑥京王八王子駅



玉南電気鉄道（現・京王線）の開通に伴い、1925（大正14）年に開設。かつては東八王子駅と呼ばれていたが、1963（昭和38）年に現在地に移転して京王八王子駅に改称。1989（平成元）年に地下駅となった。（はちとび34号参照）

## ⑦南多摩中等教育学校



1892（明治25）年に横川榎子が私立八王子女子学校を設立。横川はその校舎などを寄付して、1908（明治41）年に東京府立第四高等学校が開校。南多摩高等学校と改称後、2015（平成27）年に中高一貫の南多摩中等教育学校となった。

## ⑧市守大鳥神社



1590（天正18）年に八王子三宿の商人の守護神として倉稲魂命（うかのみたまのみこと）を祀る。江戸時代に天日鷲命（あまのひわしのみこと）を合祀してからは大鳥神社とも呼ばれるようになった。毎年11月の酉の日に酉の市が行われる。

## ⑨永福稲荷神社



1756（宝暦6）年に力士・八光山権五郎の出世を祈念して再建され、落成と同日に相撲が奉納されたといわれる。祭神は倉稲魂命。9月に厄除けを祈願し、しょうがを奉納する「しょうが祭」が開催される。境内に松尾芭蕉の句碑が建つ。

## ⑩竹の鼻一里塚



甲州道中の江戸日本橋から12番目にある一里塚で、市内で唯一位置が特定できる。塚に植えられていた榎は1897（明治30）年の八王子大火で焼失。この付近は甲州街道の旧道でもあり、八王子宿の東の入口にあたる。

### ひと休み コラム

## 八王子駅周辺の今昔

1952（昭和27）年、市の復興計画により、八王子空襲で焼失した八王子駅の新駅舎が完成し、現在の位置に移設されました。このときに駅前広場、甲州街道と駅を結ぶ大通り、東西放射線通りなど、いまの八王子駅北口の街並みの原形が形作られます。

1954年には甲州街道沿い1キロメートルにわたってアーケードが設置されました。このアーケード商店街は、都市商店街のモデルケースとして視察が訪れるほどで、当時の八王子中心市街地の活気を担っていました。1960年、市内初のデパート「まるき百貨店」（後に「岡島百貨店」となり、現在は「八王子エルシィ」に）、63年には「イノウエ百貨店」が開店。続いて「伊勢丹」「西武百貨店」「八王子大丸」「長崎屋」「忠実屋」などの大型百貨店やスーパーマーケットが八王子駅周辺に続々と進出していきます。八王子駅は1983年に駅ビルと「そごう八王子店」が開店します。「そごう」は2012（平成24）年に閉店し、市内のデパートはすべてなくなってしまうましたが、同年に駅ビル「セレオ八王子北館」が開館し、現在に至っています。

駅前のシンボルとして多くの市民に親しまれていたのが、1960年、八王子駅前に建設された織物タワーです。当時の八王子の「買継商組合」によって造られ、1962年に組合から八王子市に寄贈されました。高さ約12メートルのタワーの上部には市章があり、その下にエンジ色で「織物の八王子」の大きな文字が表示され、夜になるとネオンで文字が輝きました。周囲の池からは糸を表す5本の噴水が吹き上がり、塔を伝わる水が織物を表現していました。

1995年に八王子駅北口整備事業によってタワーは撤

## 11 大義寺



創建当初は大元寺と称していたが、戦国時代に大義寺と改称されたと伝えられる。江戸時代の女流俳人、松尾芭蕉の系譜を継いだ松原庵星布の墓がある。星布は八王子横山宿の榎本家出身で、多摩地方の俳諧に多大な影響を与えた。

## 14 中町黒塀



大正から戦後間もなくまで繁栄した中町界隈には、多摩地域で唯一の花街があった。現在は有志が「黒塀を楽しむ会」を結成して、往時の花街の姿を伝えている。2020（令和2）年より「まちなか休憩所」が整備されている。

## 12 八幡八雲神社



八幡神社と八雲神社が合わせて祀られ、市街地東部の鎮守として親しまれてきた。八幡神社は古く「八幡宮」と称し、横山党が勧請したものと伝えられる。八雲神社は「天王宮」とも呼ばれ、かつて深沢山にあったご神体が祀られたと伝えられる。

## 15 いちょうホール



1994（平成6）年開館の芸術文化会館。1983（昭和58）年まで市役所があった。大ホール、小ホール2つのホールを有し、コンサートや講演会、各種発表会に利用されている。2023（令和5）年から改修工事のため休館予定。

## 13 西放射線ユーロード



八王子駅北口から八日町交差点までの500m区間は、1984（昭和59）年に歩行者・自転車専用道路となった。たくさんのお店が建ち並び、多くの買い物客で賑わう。合間には憩いの広場もあり、様々なイベントが開催される。

## 16 八王子市医師会



1892（明治25）年発足の「八王子医会」をルーツに、1974（昭和49）年に「八王子医師会」と名称変更。2016（平成28）年に現在地に移転。在宅医療相談窓口や相談室、訪問看護ステーションなどを備える。（はちとぴ36号参照）

## 昭和40年代八王子駅 周辺のようす

（搖籃社刊『市民の写真集』  
八王子の今昔』より）



▲甲州街道の七夕祭り  
(1967年8月、橋本靖男氏撮影)



▲織物タワーと八王子駅  
(1963年ころ、風野正治氏撮影)



◀甲州街道の歩行者天国  
(1972年9月ころ、秋山秀雄氏撮影)

去。さらに1999年には八王子駅北口2階から延びる歩行者専用通路（ペDESTリアンデッキ、通称「マルベリーブリッジ」）が建設され、駅前ロータリーと地下駐車場などが整備されます。このときに織物タワーに代わって、絹の布をイメージした虹色の板がかかるモニュメント「絹の舞」が設置され、新たな駅前シンボルとなりました。  
現在は明神町に多摩地区最大級の産業交流拠点、「東京たまたまメッセ（東京都立多摩産業交流センター）」の建設が進められています。東京都八王子合同庁舎と八王子市保健所が集約され、展示ホールや会議室なども併設。八王子のみならず、多摩地域の産業振興の拠点としての役割が期待されています。

深〜く

# 中心市街地を知る! その2

## 甲州街道探訪コース

はちとぴ  
観光☆  
—特撰—



2003（平成15）年のビュータワー八王子竣工に合わせて、八王子宿全景の絵図（『新編武蔵風土記稿』掲載）のレリーフと解説板が設置された。江戸時代、甲州街道の八王子宿は15の宿場からなり、横山宿と八日市宿を中心に発展した。



### ② 八日市宿跡碑

中心市街地活性化再開発事業の一環として、2003（平成15）年にビュータワー八王子2階に開館。年間数本の特別展を開催するほか、常設展示では市にゆかりのある画家の作品も紹介している。（はちとぴ19号参照）

### ① 八王子市夢美術館



# 八日町～ 西八王子駅

- 1 八王子市夢美術館
- 2 八日市宿跡碑
- 3 傳法院
- 4 極楽寺
- 5 八王子商工会議所
- 6 コニカミノルタサイ  
エンスドーム
- 7 加島屋
- 8 八王子織物工業組合
- 9 産千代稻荷神社
- 10 追分道標
- 11 了法寺
- 12 興岳寺
- 13 日吉八王子神社
- 14 宗格院
- 15 八王子市立中央図書館
- 16 西八王子駅



## ④極楽寺



1504（永正元）年に滝山城下丹木に創建され、八王子城築城に伴い元八王子へ、落城後に現在地へ移転。戦災からも難を逃れた市内有数の古刹。庫裏は多摩市蓮光寺の旧家を移築したもの。長田作左衛門、玉田院、塩野適齋の墓がある。

## ③傳法院



境内の南側の古い石塀は1906（明治39）年に築造されたもの。奇進者である商店、旅館、織物関係者などの屋号が両面に刻まれている。1945（昭和20）年の空襲で諸堂は灰燼に帰したが、塀は大きな損傷もなく焼け残った。